

5 就学前教育

2022年度（令和4年度）主要施策

《心豊かにたくましく生きる力を育てる教育・保育の推進》

1 学びの芽生えを育む遊びの充実

(1) 教育・保育内容の充実

「福山市教育・保育カリキュラム」を基に実践し、子ども主体の学びや育ちを保障し、保育の専門性を高めるための交流や研修を行う。

カリキュラムの実践にあたっては、広島県教育委員会の「『遊び 学び 育つひろしまっ子！』推進プラン～広島県の全ての乳幼児の健やかな成長のために～」とのつながりをもたせた取組としていく。

(2) 就学前施設と小学校の連携

2012年（平成24年）から2018年（平成30年）まで7年間にわたり福山市立大学と連携し、市内の幼稚園・保育所等の職員及び小学校の教員が参加する保幼小合同研究会を実施し、子どもの実態や教育・保育内容、指導内容についての相互理解や連携の推進を図ってきた。校区で互いの顔の見える交流ができてきたことから、2019年度（令和元年度）からは、校区ごとに幼稚園・保育所等の就学前施設と小学校の連携を図っている。2022年度（令和4年度）からは、保幼小連携教育合同研修会を行い、子どもの育ちと学びを連続させていくための接続期カリキュラムに基づく連携・接続を推進していく予定である。

(3) 年齢や興味に合った絵本環境の整備

子どもが自然と手に取り、触れるような絵本の選定や配置の見直しなどの絵本環境を整備する。

(4) 職員の資質向上

子どもにとって豊かな経験や人との関わりが豊かなことばの育ちにつながるという理解を深めるための、ことばの発達や絵本に関する研修等により、職員の資質向上を図る。